2020 CSR報告書 カンボウプラス

CSR：Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。

KANBO PRAS

企業理念

**カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。**

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	7
その他のかかわり	11
ISO26000対照表	14

カンボウプラスの概要

代　表　者	代表取締役社長　中村信治
設　　立	1939年3月24日
資　本　金	10億2,030万円
決　算　月	3月
従　業　員	170人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化による キャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所　建築物・工作物の設計・施工
事　業　所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場　ISO9001、ISO14001

「新」「加」するカンボウプラスを感じていただくために

（ご挨拶）
平素よりカンボウプラスをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。またCSR報告書をご覧いただきありがとうございます。カンボウプラスは日々「新」「加」する取り組みを進めております。

（2019年度を振り返って）
2019年度は創立80周年を迎えた年、また「平成」に終わりを告げ、新たに「令和」の幕が上がった年でした。天候では台風15号や19号が日本列島を襲い、全国で71河川140ヶ所の堤防が決壊するという甚大な被害が発生しました。国土強靭化計画のもと早急な復興が望まれます。
スポーツ界では、アジアで初開催となるラグビーワールドカップが日本で開催され、「ONE TEAM」というキーワードのもと日本中が熱狂しました。また、その際にはメイン会場である日産スタジアム（横浜国際総合競技場）においてカンボウプラス製品の特別仕様人工芝が採用され、一役を担うことが出来ました。
SDGs・ESG活動が盛んになるなか、カンボウプラスも東京ビッグサイトにて開催された「気候変動・災害対策Biz2019」に出展し、メディアでも紹介されました。また、80周年を記念して開催した新商品発表会においては、「不燃ターポリン」「チッパカ」などのご紹介に加えて、日ごろのCSR活動についても報告させていただきました。

（社会に役立つ企業に）
地球温暖化による異常気象、漂着する海洋プラスチックごみ、人による自然再生スピードを超えた開発などを受け、企業はSDGs「持続可能な開発目標」を考慮した取り組みが求められています。SDGs経営やESG投資は企業市民として取り組むことが当たり前となっています。このような環境において、カンボウプラスは「ものづくり」を通じて持続可能な社会構築に役立てる企業に、また社会に選ばれる企業になるために「新」「加」していきます。

このたび2019年度の活動をまとめた『2020CSR報告書』を発行いたしました。皆さまの忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長　中村信治

創立 80 周年記念新商品説明会

開催日：2019年7月3日、4日 / 本社
2019年7月18日 / 東京支店

『新加 ADDNEW FOR THE NEXT STAGE “まだまだ80年「令和の幕開け」熱く粘り強く新加するカンボウプラス”』をキャッチフレーズとし、本社186名、東京支店120名、合計306名と多数の来場者を迎え、開催しました。

お客様アンケートでは、各部署がそれぞれ発表に趣向を凝らしており、「楽しく、わかりやすい発表･展示で勉強になった」とのコメントや、「ぜひ、定期的な開催をリクエストする」、「次回の開催にも期待したい」など要望の声も多数いただきました。

各部署が、発表・展示形式で各商品を紹介しました。また、LEDビジョンやデジタルサイネージを使用し、動画や音を用いたコンテンツで伝えることに挑戦しました。

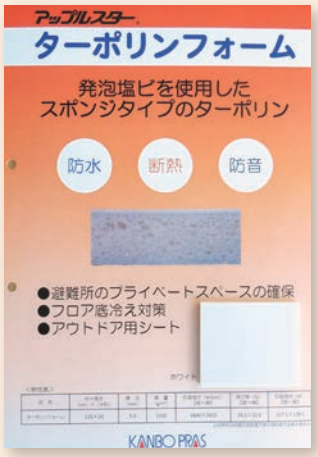
環境対策製品への切り替え

当社製品（アップルスター®シリーズ）について、欧州の製品含有化学物質規制（RoHS※①、REACH※②）に適合した製品への切り替えを始めており、2020年度末までにすべての当社加工品について、切り替えることを目標に取り組んでおります。

※①…電気・電子機器（EEE）についての有害化学物質規制
※②…製造・使用される化学物質について Registration（登録）、Evaluation（評価）、Authorization（認可）、Restriction（制限）の義務

当社商品のご紹介

① ターポリンフォーム



発泡塩ビを使用したスポンジタイプのターポリン
＜規格＞5mm 厚 ×125cm 幅 ×20m 乱
＜機能＞防水・断熱・防音
＜用途＞
・避難所のプライベートスペースの確保
・フロア底冷え対策
・アウトドア用シート　など

② 両面チッパカ

オレフィン素材に強力粘着する両面テープ
＜規格＞0.42mm 厚 ×2.5、5.0、10cm 幅 ×20m
＜用途＞
・ブルーシート、土のうなどの補修や加工

③ 不燃ターポリン

薄くて軽い半透明のオリジナル不燃ターポリン
＜規格＞0.23mm 厚 ×204cm 幅 ×30m 乱
＜機能＞不燃（不燃認定番号：NM-5013）
防炎（防炎物品試験番号：C2190023）
（防炎製品認定番号：F-31357）
抗菌
＜用途＞
・間仕切り
・垂れ幕
・膜天井　など

気候変動・災害対策 Biz2019

開催日：2019年12月4日～6日
場　所：東京ビッグサイト
主　催：日本経済新聞社、日経 BP

防災・減災に役立つ製品・ソリューションや環境・再生エネルギー技術が一堂に集結した展示会に出展しました。

テレビやラジオの取材を受け、ご来場の方々からも高い評価を数多くいただきました。

・テレビ東京 / ゆうがたサテライト
・文化放送 / 斉藤一美ニュースワイド SAKIDORI ！

特にパネテクター（パネル型止水シート）やターポリン救護担架についての問い合わせを数多くいただき、防災・減災に対する関心の高さをあらためて実感しました。

パネテクター

建物の入口に置くだけの簡単な作業で素早く設置可能なパネル型の止水シート

基本サイズ：間口（3m タイプ、5m タイプ）※× 高さ 50cm
（収納時：縦 45cm× 横 60cm× 高さ 26cm・38cm）
重　量：（10kg・14kg）
※間口（3m タイプ、5m タイプ）以外の特注品も製作可能です

特に都市部では土のうに詰める土の確保が難しいことからパネテクターへの注目が高まりました。

ターポリン救護担架

緊急時の傷病者の運搬に、軽量でコンパクト収納可能な担架

サイズ：60cm×200cm　（収納時：33cm×40cm×9cm）
重　量：約 1.8kg（収納袋込：約 2.0kg）

ふるさと納税（福井県鯖江市、大阪府忠岡町）の返礼品にも採用されています。

収納時

使用時

品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定　2013年12月1日

苦情発生状況

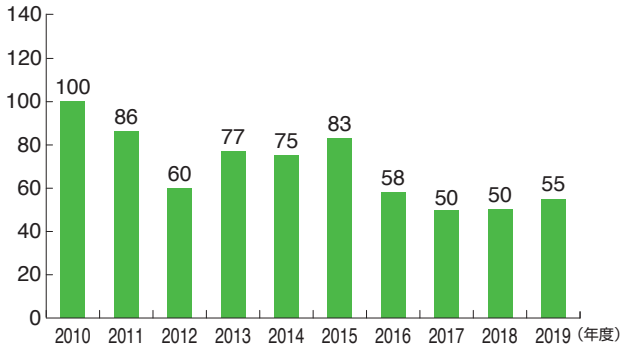
2018年度まで減少傾向で推移していた苦情件数ですが、2019年度は前年比10%増の結果となりました。

お客様に指摘された不具合の真因を捉え、確実に抜本対策を実施していきます。

また製品の不安定な品質項目を早期に発見し改善することで、苦情件数が増加傾向に転じることのないよう歯止めをかけていきます。

苦情発生件数推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



不良品発生状況

2019年度の不良品発生件数は、ほぼ横ばいの状況を改善できませんでした。

思い込み作業による不良品発生が多くありました。

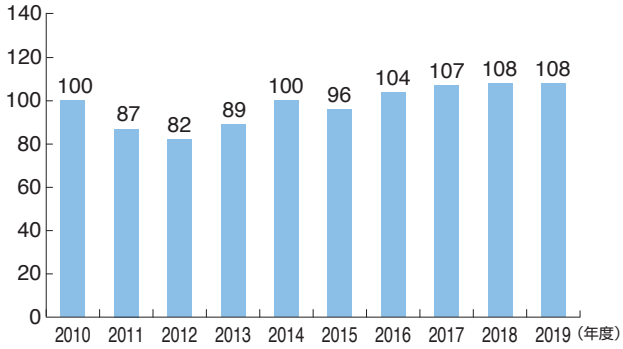
製造担当者の世代交代が進み、作業の注意点が十分に指導できていないことが要因のひとつとして挙げられました。

また、ここ数年で生産状況が変わり、多量生産品が少なくなったことにより、切り替え作業が多くなり、作業注意点が増えていることも要因のひとつです。

ミスのない製造環境を実現すべく、日々の改善活動、指導教育による不良品発生の抑制に努めてまいります。

不良品発生件数推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



小集団活動

福井工場では、現場力向上のために小集団活動に取り組んでいます。

班長を中心にチームに分かれて、品質や生産性の向上をテーマに作業標準書の見直しをしたり、労災ゼロを目指してKY活動やリスクアセスメントの作成にも積極的に取り組んでいます。

環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』
当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1．当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2．当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3．定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4．当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5．当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6．環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7．環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定　2008年4月1日

事業活動における環境負荷（福井工場）

INPUT

水資源	233千ｔ
エネルギー	3,262kl
薬品・着色剤	5,472t
フィルム類	2,194km
基布類	17,855千㎡

事業活動

生産数量
17,348千㎡

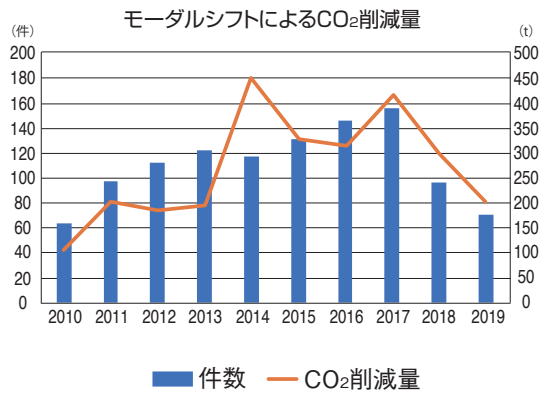
OUTPUT

廃棄物リサイクル量	345t
廃棄物リユース量	101t
最終処分廃棄物量	896t
CO_2排出量	7,612t

照明のLED化などCO_2排出量削減のための活動を進めていますが、高付加価値製品の生産増により原単位としては減少していません。CO_2排出量削減のため、再生可能エネルギーの導入、グリーン電力の購入などの調査、研究を進めます。

地球温暖化防止への取り組み

お客様の理解をいただき出来る限りJRコンテナ便の利用を進めてきましたが、2019年度は2018年度をさらに下回りました。近年は出荷形態も変わりつつありチャーターによる大口出荷が少なくなり、JRコンテナの使用機会も減少しました。



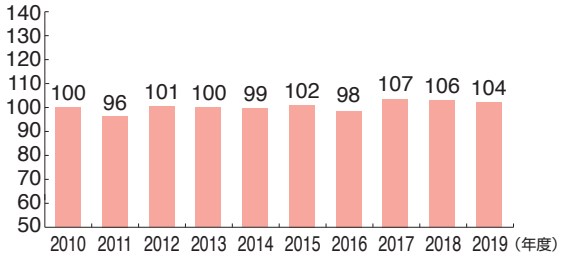
エネルギー消費量とCO2排出量

2019年度は、10月以降生産数量が減少に転じたものの、原単位で2018年度とほぼ同等となりました。ただし、エネルギー別でみるとA重油の消費が14.1%増となり、削減のための取り組みが不十分でした。省エネの取り組みとして、生産設備へのインバーターの導入、照明のLED化を進めましたが、他設備へのインバーターの導入、工場建屋照明のLED化など進捗が遅れた案件もありました。

省エネ設備の積極的・計画的な導入を、2020年度以降も継続して進めていきます。

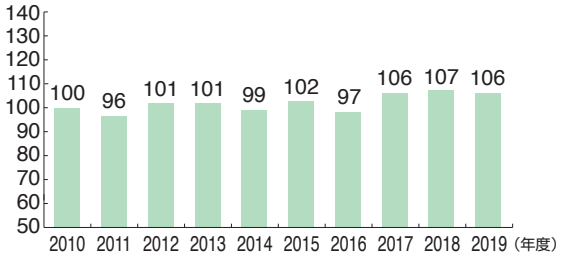
エネルギー消費量原単位推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



CO_2排出量原単位推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。

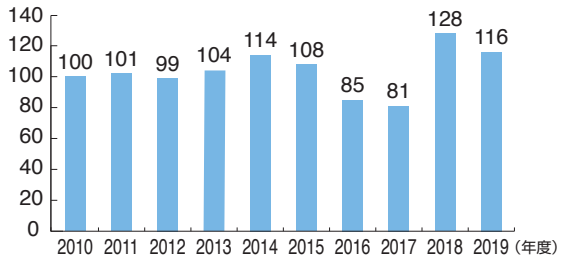


廃棄物削減への取り組み

生産数量の減少に伴い、最終処分廃棄物量、リサイクル・リユース量が減少しています。より細かな分別回収を行うことによるリサイクル化を推進してきましたが、まだ埋立・焼却処理などの排出物が多いため、廃棄物再生によるリユース化への取り組みを検討しています。

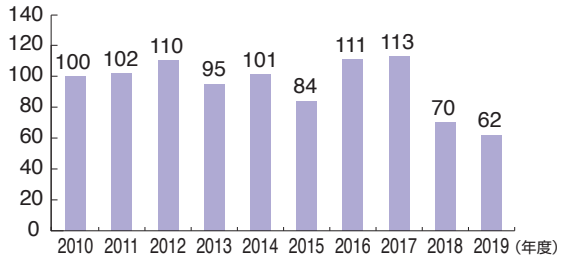
最終処分廃棄物量推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



リサイクル・リユース量推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR法への対応

2019年度のPRTR対象物質の取扱量は2018年度よりも原単位比で約10%減となりました。

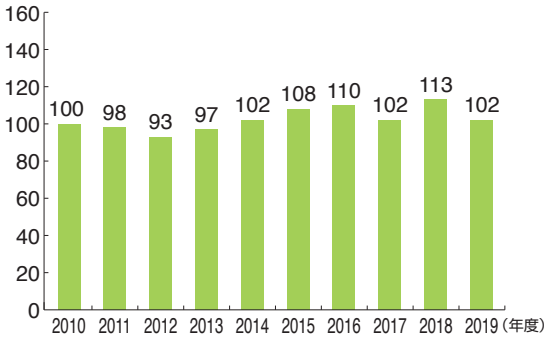
一部の製品で脱DOP（フタル酸ビス(2－エチルヘキシル)）の動きが進んだことが影響していると考えられます。2020年度はさらに脱DOP化を進める計画となっています。

全体の取扱量の減少にともない、移動量も減っていますが、排出量は逆に増加傾向にあります。

これは、トルエンやN,N-ジメチルホルムアミドなどの溶剤を使用する加工が増加傾向であることと関連しています。

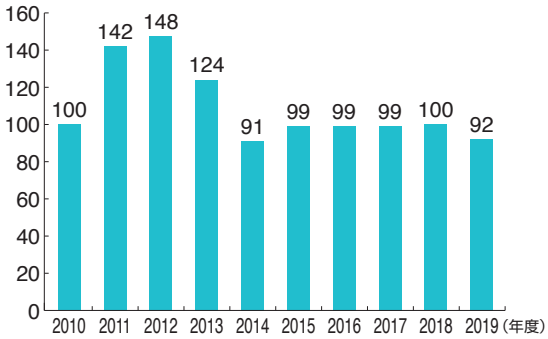
PRTR対象物質取扱量推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



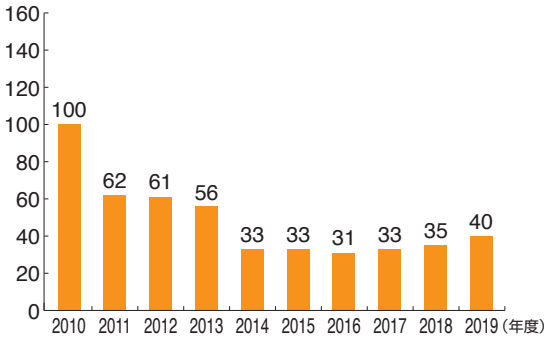
PRTR対象物質移動量推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR対象物質排出量推移

（注）2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



環境負荷低減製品開発への取り組み

環境配慮の指標として、環境先進地域である欧州の製品含有化学物質規制（RoHS、REACH）に沿った製品設計をお客様から要望されることが多くなりました。

新製品はもとより、既存製品についても、順次使用化学物質の改善を実施しております。

また、製品の長寿命化（防汚性、耐候性、耐久性）の改善も進めております。

グリーン推進活動

2019年度も第10回ニチバン巻心ECOプロジェクトに参加し感謝状をいただきました。今後も継続して活動を行ってまいります。

10月25日～ 27日には「さばえものづくり博覧会2019」に出展しました。

これは当社福井工場の所在地である鯖江市がSDGsをテーマとして開催した博覧会で、当社も参加しました。

当社では、最近注目されているSDGsをコンセプトに防災関連商品の展示やCSR活動の啓蒙などを行いました。

カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。近年では大阪マラソンの開催にともない、「大阪マラソンのクリーンUP作戦」に毎年参加しています。6月28日・29日に開催されたG20大阪サミットにともない、「G20大阪サミットクリーンUP作戦」にも参加しました。また、福井工場でも清掃を行っています。

従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。2019年度は、カンボウグループ内で技術交流を行い、業務成果を全社で共有しました。社会から愛され信頼される企業であり続けるため、今後も従業員教育の充実を図り、能力向上に努めていきます。

実施月	研修名	研修内容
2019年4月	新入社員研修	新・社会人ビジネスマナー研修、社外安全研修等
2019年5月	営業職研修	ぶち破れ！オレがやる（社内講師）
2019年5月	技術研修会	屋外暴露及び促進耐候性試験に関するセミナー
2019年6月	中級職研修	中堅社員研修
2019年9月	カンボウカレッジ	株式会社スマイリーアース工場見学
2019年12月	事務職研修	BCP啓蒙研修（社内講師）
2020年1月	営業職研修	BCP啓蒙研修（社内講師）
2020年1月	昇級者研修	リーダー・主任係長の実践力強化セミナー、CSRとメンタルヘルスについて
2020年2月	監督職研修	職場の一体感づくり、コミュニケーション研修
2020年2月	カンボウグループ技術交流会	グループ内業務成果の共有
2020年3月	考課者訓練	人事考課の意義や考課者のレベルアップ

営業職研修

カンボウグループ技術交流会

公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。2019年度は、技術士(繊維部門)、通関士といった国家資格から、玉掛け技能、フォークリフト運転技能、はい作業技能、高所作業車運転技能、有機溶剤作業主任者技能といった職場の安全・衛生向上のための公的資格まで22名が資格を取得しました。

雇用延長制度

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には年金不支給期間への対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には、雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させるため、シニア制度規定を制定しました。

（人）

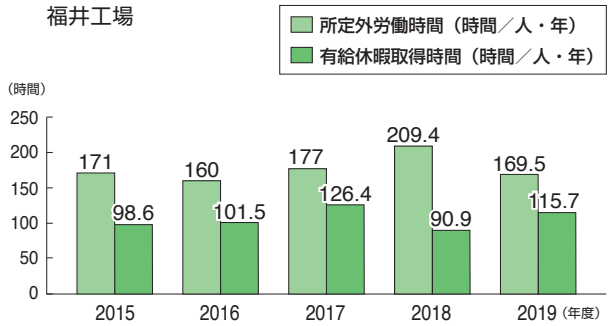
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
定年退職者数	2	3	1	3
雇用延長者数	0	3	0	3
雇用延長者合計	19	19	14	10

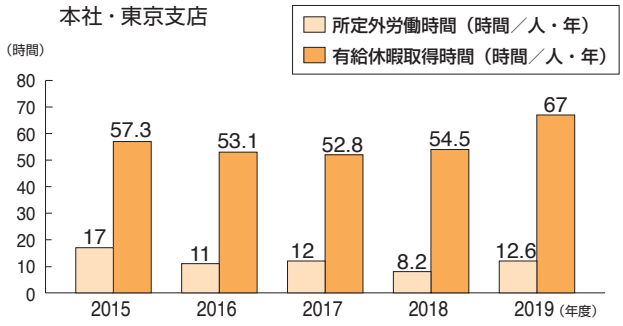
大学生・短大生向けインターンシップ

学生の就業意識の向上や業界研究を手助けする機会を提供し、学生のキャリア形成の支援をすることを目的に、インターンシップを受け入れています。2019年度は、6人の学生を受け入れました。

ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー・最終退出時間の設定と誕生日有給休暇・一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。2019 年 4 月に施行された年次有給休暇 5 日取得の義務化についても対象の全従業員が取得しました。





労働安全衛生

カンボウプラスでは、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。2019年4月に施行された「健康増進法」にともないまして、就業時間中の禁煙にも取り組んでいます。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催（労使合同）	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正処置	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
マスクの配布、うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
ストレスチェックの実施	本社・東京・福井工場
就業時間中の禁煙の実施	本社・東京・福井工場
作業環境測定の実施	福井工場
特殊健康診断の実施	福井工場
安全衛生コンサルタントによる工場パトロール（毎月）	福井工場
安全衛生コンサルタントによる講話	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場
産業医による工場パトロール	福井工場
職場ごとのリスクアセスメントの実施及び事例発表（毎月）	福井工場

労働災害発生件数

2018年度は労災ゼロを達成しましたが、2019年度は２件の発生となりました。

福井工場では労災ゼロを目指し、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導など安全対策を一層推し進めてまいります。

休業労働災害発生件数

2015年度	0件
2016年度	2件
2017年度	2件
2018年度	0件
2019年度	2件

内部通報制度

カンボウプラスは「カンボウ・ヘルプライン」と呼ぶ内部通報制度を設けています。2019年度は1件の通報を受けました。内部情報提供者の保護を図るとともに、違法行為等の早期発見と是正を図り、コンプライアンスの強化と共にハラスメント教育にも努めてまいります。

緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム（BCMS）」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、「安否確認サービス」を導入しました。2019年10月の台風19号発生時には、「安否確認サービス」を利用して確認を行いました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練等を実施してまいります。

ISO26000対照表

ISO26000の7つの中核主題および課題に対して、当CSR報告書に掲載している取り組み内容および関連するSDGsを対比させました。

ISO26000の中核主題	課　題	カンボウプラスの取り組み		関連するSDGs	ページ
組織統治		企業理念			1
人権	1．デューティリジェンス 2．人権に関する危機的状況 3．加担の回避 4．苦情解決 5．差別及び社会的弱者 6．市民的及び政治的権利 7．経済的、社会的及び文化的権利 8．労働における基本的原則及び権利	その他の かかわり	従業員への教育 雇用延長制度 ワークライフバランス 内部通報制度		11 11 12 13
労働慣行	1．雇用及び雇用関係 2．労働条件及び社会的保護 3．社会対話 4．労働における安全衛生 5．職場における人材育成及び訓練	社会との かかわり	小集団活動		6
		その他の かかわり	従業員への教育 公的資格取得の推進 雇用延長制度 ワークライフバランス 労働安全衛生		11 11 11 12 13
環境	1．汚染の予防 2．持続可能な資源の利用 3．気候変動の緩和及び気候変動への対応 4．環境保護、生物多様性及び 自然生息地の回復	環境との かかわり	環境方針 地球温暖化防止への取り組み エネルギー消費量とCO_2排出量 廃棄物削減への取り組み PRTR法への対応 環境負荷低減製品開発への 取り組み グリーン推進活動		7 7 8 8 9 9 10
公正な事業慣行	1．汚職防止 2．責任ある政治的関与 3．公正な競争 4．バリューチェーンにおける 社会的責任の推進 5．財産権の尊重	その他の かかわり	従業員への教育 内部通報制度		11 13
消費者課題	1．公正なマーケティング、事実に即した 偏りのない情報及び公正な契約慣行 2．消費者の安全衛生の保護 3．持続可能な消費 4．消費者に対するサービス、支援、 並びに苦情及び紛争の解決 5．消費者データ保護及びプライバシー 6．必要不可欠なサービスへのアクセス 7．教育及び意識向上	環境との かかわり	PRTR法への対応 環境負荷低減製品開発への 取り組み		9 9
コミュニティへの参画 及びコミュニティの発展	1．コミュニティへの参画 2．教育及び文化 3．雇用創出及び技能開発 4．技術の開発及び技術へのアクセス 5．富及び所得の創出 6．健康 7．社会投資	環境との かかわり	グリーン推進活動		10
		その他の かかわり	インターンシップ		12

カンボウプラス株式会社
〒541-0054
大阪市中央区南本町1-8-14　堺筋本町ビル
TEL 06-6262-1277　FAX 06-6262-9419
URL http://www.kanbo.co.jp/